

# 市工研と産技研の統合案可決

## 大阪市議会 小川市議が反対討論



小川陽太市議

大阪市議会は4日の本会議で、水道事業民営化に向けた検討・準備経費などを盛り込んだ2016年度一般会計補正予算案と、府市の港湾を一元管理する議案、市立工業研究所(市工研)、大阪市(城東区)と府立産業技術総合研究所(産技研、和泉市)を統合するための

関連議案などを、維新、自民、公明などの賛成多数で可決しました。日本共産党は補正予算案と港湾一元化、市工研と産技研の統合関連議案に反対しました。

指摘。それぞれ歴史を重ね、異なる得意分野や組織風土を持つ両研究所を無理やり統合すれば、それぞれが強みが損なわれると強調しました。

関連議案などを、維新、自民、公明などの賛成多数で可決しました。日本共産党は補正予算案と港湾一元化、市工研と産技研の統合関連議案に反対しました。

### 強みなくなる

市工研(1916年創設)は化学分野で強みがあり、金属や機械・加工技術分野を得意とする産

官を提案してきましたが、いずれも否決。市は今議会に議案を再提出し、府市が統合後に予算措置を行うことなどを盛り

り込んだ付帯決議を付けたことで、これまで反対してきた自民と公明などが賛成に回りました。

さらに、統合が市工研の研究者・技術者・職員、利用企業など関係者の声をまったく聞かずに進められていると批判。「議論すればするほど、統合の必要がまったくないということは明白。それでも統合に突き進むのは、大阪市解体の『都』構想実現のためだ」と断じました。